

学校図書館支援センターだより



新居浜市教育委員会学校教育課
新居浜市一宮町一丁目5番1号
TEL (0897)65-1301

小学生用学び方ノートが完成しました

文部科学省では、2018年6月に「Society 5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」と題して、人材育成の在り方に関する議論のとりまとめを行いました。AI、ビッグデータ、IoT、ロボティクス等の先進技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられ、現在の産業構造や働き方が著しく変化することが予想されています。このような社会の変化の中で、『人間らしく豊かに生きていくために必要な力』は、これまで誰も見たことのない特殊な能力では決してないこと。むしろ、どのような時代の変化を迎えたとしても、知識・技能としての語彙や数的感覚などの学力の基礎に加え、①文章や情報を正確に読み解き対話する力②科学的に思考・吟味し活用する力③価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究力と整理しています。

また、今回改訂された学習指導要領には、「これからの社会がどんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を共に創っていききたい」という願いが込められており、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善していく必要性が強く求められています。

この学び方ノートは、SDGs達成担い手育成推進事業の一環としてSDGs達成を目指し、「気付き」「考え」「行動する」ために必要な力を身に付けるための探究的な学習の手引きです。国語科の学習だけでなく、総合的な学習の時間や社会科・理科等、全教育活動での活用をお願いいたします。

なお、使ってみての感想や改善すべき点等がありましたら、ぜひお知らせ下さい。

学び方ノート

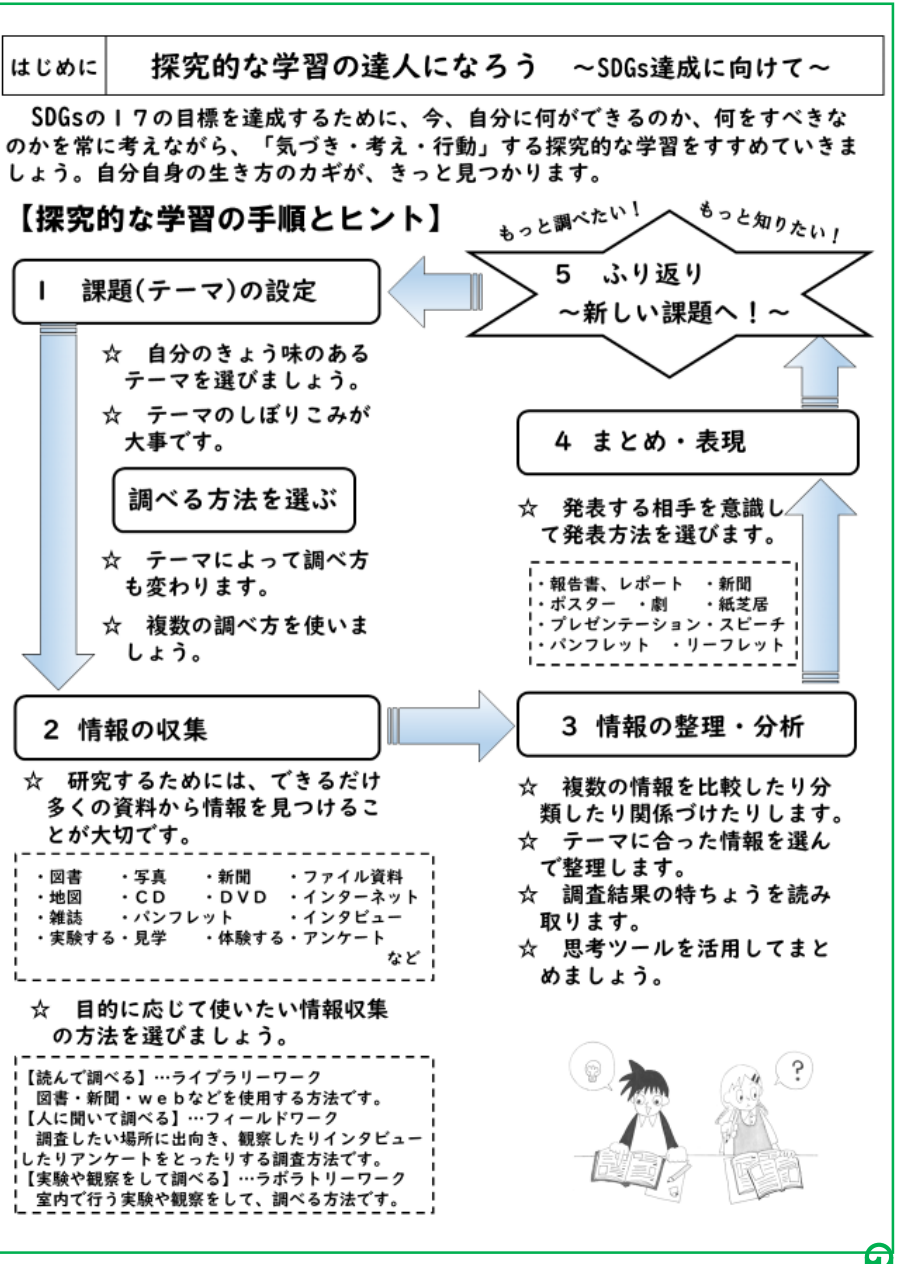
地球は一つしかありません。今、その地球には、たくさんの課題があります。わたしたちが、地球でずっと幸せにくらし続けるように、たくさんの国の人たちが集まって話し合い作られた「持続可能な開発目標(じぞくかのうなかいはつもくひょう)」。それがSDGs(エスディーズ)です。

学び方ノートは、SDGs達成を目指し「気付き」「考え」「行動する」ために必要な力を身に付ける、調べ学習の手引きです。

小さい行動だって、集まったら大きな力になります。さあ、自分にできることを始めましょう!

SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業
2019年11月初版発行

Hello! NEW 新居浜



学習指導要領(総合的な学習の時間)に書かれている探究的な学習のプロセスをより具体化して『はじめに』を作成しました。

このノートのデータやワークシートは、**学校フォルダ→教育委員会→共通→小中合同→学校図書館支援センター→学び方ノート**の中に入れてありますので、ご活用ください。

テーマを決めよう

知りたいことや疑問に感じたことの中から、テーマや調べたいことを決めていきます。

マンダラート ※ マンダラートは、発想を広げるのに使います。大テーマに関して8つの関連事項を書き込みます。

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

手順

- ① 表の中央に、大テーマ(キーワード)を書き入れます。
- ② 8つのマスに、テーマに関する事で知っていることを書きます。
- ③ 興味がある事柄を選択し、下の図の真ん中に書きます。

※ 下のマスがあまり埋まらないようなら、テーマに関する基礎知識が不足しています。百科事典などで一度下調べしましょう。

KWLシート ※ KWLシートを使うと、情報を整理し、知りたいことを見つけやすくなります。

手順

- ① Kのらん、自分が知っていることを書きます。
- ② Lのらん、体験や調べ学習を通して学んだことを書きます。
- ③ KとLをもとに、Wに知りたいことを書きます。

K (知っていること)	W (知りたいこと)	L (学んだこと)

マンダラートは、本来発想を広げるために使用しますが、探究的な学習では、あるテーマに関して、どの程度の知識があるのかを確認するためにも使います。

下のマンダラートでマスが埋まらないようなら、知識が不足しているのだから、さらに下調べが必要であるということが分かります。

5・6年用学び方ノートの紹介

これまでに集めた情報を整理して、問いに照らして答えを導き出す場面で使う思考ツールを紹介しています。

一人でじっくり問いに向き合うことは、考えを深めるための大切な活動です。自分の考えをもった上で、他者の意見を聞いて、似ている点や違いを認識して自分の意見を修正することも大切にしていきたいものです。

思考ツールをホワイトボードに書き、付せんをはったり記入したりしながらグループで考えを深めていくことも効果的です。

情報を整理・分析するために便利な図

集めた情報は、図を使うと考えが整理できます。考えることを助けてくれる図などのことを思考ツールといいます。いろいろな学習の場面で、活用しましょう!

ベン図 比較する・分類する

マトリックス表 共通点や相違点を見つける

原因と結果の図 どうしてそうなるのか(原因)を考えると結果どうなるのか

原因と結果が1対1でないこともあるよ。

ピラミッドチャート 焦点化・構造化する

主張 大切なこと、大切だと思うことを選んで書く

調べた情報を書く

なぜなにの図 主張と根拠を組み立てる

言いたいこと 自分自身を守ろう

理由や事例 記事はいつ頃に 異常気象 異国で大震災 異国で大震災 異国で大震災

理由や事例

順番の図 手順や時間順にもついでに整理する

(なぜなにの図の例)